

清高ミニタイムス

清高ミニタイムス
北海道清水高等学校
新聞局
発行責任者
櫻井心結

「英語の楽しさを伝えたい」

～実習生の森 星輝 先生にインタビュー～

森先生は英語が好きで、「みんなにも英語を好きになってほしい」という思いから教師を目指したという。実際の授業では、生徒一人ひとりに合わせて教える難しさを感じつつも、それ以上に教える楽しさを実感したそう。将来は「みんなに慕われる先生」になることが目標。高校生に向けては「学校祭などの行事に全力で取り組んでほしい」と熱いメッセージを寄せてくれた。ちなみに、好きなアーティストは「EVE」、好きな映画・ドラマは『キングダム』『ハリー・ポッター』。最近は就職活動で忙しく、SNSアプリの「BeReal（ビーリアル）」は削除したという学生らしい一面も見せてくれた。



新聞局の取材を受ける、
教育実習生『森星輝（もりそら）先生』

成長の姿に期待

恩師 岩澤健治先生

教育実習生として母校に戻ってきた森先生について、3年間担任を務めた岩澤先生に話を聞いた。

岩澤先生は、高校時代から変わらぬ落ち着いた性格や、身長も高く

聞き取りやすく、丁寧

～教育実習の森先生

生徒が語る印象

森先生の熱心な指導は、生徒たちから「分かりやすく楽しい」と好評だ。実際に授業を受けた生徒に印象を尋ねると、大山さんは「授業中に分

らなくて手が止まっていたと、近くに来て丁寧に教えてくれました」と、一人ひとりの歩幅に合わせた優しいサポートを振り返る。

また、別の生徒からも「英語の発音が初心者には聞き取りやすくて、内容が分かりやすかった」と、その明瞭な指導力を

なったように感じることを懐かしそうに振り返った。また、教員になった際には英語と部活動の両立に力を入れてほしいと期待を寄せ、さらに部活動や進路で生徒が目標を達成した姿を見ることにやりがいを感じる話し、教える子である森先生の成長を温かく見守っていた。

絶賛する声が上がった。

特に印象的だったのは、生徒同士のコミュニケーションを引き出す実践的な工夫だ。森先生と同じアイスホッケー部の後輩でもある深谷さんは、「現在進行形の文法を覚えるとき、その文法を使って友達と話をしてみようというレッスンがあって、友達と楽しく授業ができた」と笑顔で語ってくれた。わずかな期間の交流ながら、森先生の熱意と温かい人柄、そして部活動などを通じた繋がりは、生徒たちの学びへの興味をしっかりと引き出している。

